

ヤマハ労連

FEDERATION OF ALL YAMAHA WORKERS' UNION



ヤマハ労働組合連合会

〒438-0025 静岡県磐田市新貝2500
発行責任者/久保順裕 編集者/鈴木啓晃なかまの
あしたの
働くを守る
ヤマハ労連。

Vol.264

2021.9.14

第51回定期大会 公示

2021 9.24 (金) 15:00~

ホテルクラウンパレス浜松
「芙蓉の間」

報告承認事項

1. 第30期後半期 活動経過報告
2. 第30期後半期 会計報告及び
会計監査報告

議案

- 第1号議案：第31期 役員選挙
第2号議案：第31期 運動方針案
第3号議案：第31期 前半期予算案
特別決議：第26回参議院議員選挙
必勝に向けて（案）

ヤマハ労連は、9月24日（金）に第51回定期大会を開催いたします。

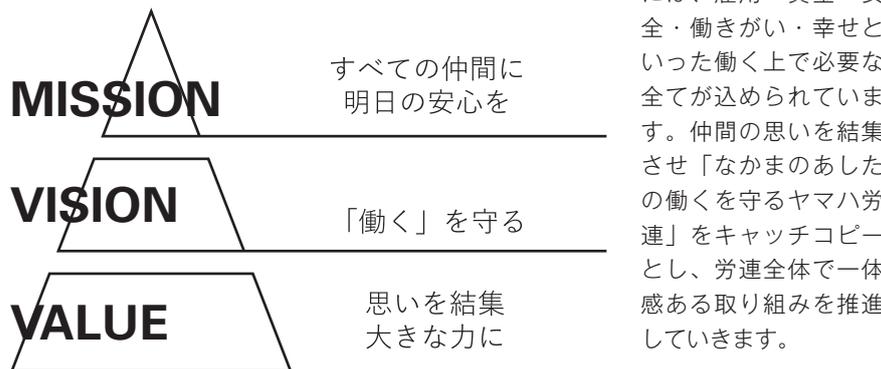
現在の日本社会は少子高齢化に伴う労働力人口の減少などを背景に、高齢者や、育児・介護・治療と仕事との両立者といった、働き手・働き方の多様化が進んでいくと予想されます。

また新型コロナウイルス感染症の収束が依然として見通せない中、CASE・Maasに加えカーボンニュートラルへの対応も求められるなど、私たちを取り巻く環境は急激に変化しています。

第31期前半期を迎えるにあたり、このような環境変化や組合員の意識の多様化に適切に対応し、働く仲間の安心・安定を守るため、これまでの活動を振り返るとともに、今後の取り組みについて今大会で議論を深めていきたいと考えます。

ヤマハ労連は今年設立50周年を迎えます。

節目の年を迎えるにあたり、改めてヤマハ労連のミッション・ビジョン・バリューを定義いたしました。ヤマハ発動機グループで働くすべての仲間の明日の安心を創ることがミッション・使命であり、そのためには「働く」を守らなければいけません。



About Us

わたしたちとは

働くを守ることは、明日の安心を創ること。
すべての仲間のために、ヤマハ労連ができること。

仲間の思いを結集させ

私たちは、より大きな力になろう

私たちの生活基盤である社会との共生のために

企業グループの発展と雇用の安定のために

豊かな心を持ち続けられる仕事と生活の実現のために

私たちの活動を支える組織の充実のために

すべては仲間の明日の安心を創るために

さあ、「働く」を守ろう

今こそ、想像力

目指すところを照らし

仲間の思いと共に、意思を持って考え抜こう

あらゆる手段を尽くし、惜しみなく問いつづけよう

プロセスにこそ価値がある

その先に

それぞれの組合が向き合う組合員1人ひとりの、

その家族の

そしてヤマハ発動機グループで働く

すべての仲間の幸せにつながっていると信じて

第31期 運動方針(案)

— 要旨 —

01

企業グループの発展と雇用の安定のために

運動の進路

ヤマハ発動機グループの持続的な発展と、組合員の雇用と生活の安定・向上は、切り離すことのできない強い関係にある。私たちは、労働組合として経営のカウンターパート機能を高め、

必要な意見提言を行うなど、経営対策活動を充実させていく。ヤマハ発動機グループの事業に関わる産業の発展に向け、産業政策課題の改善の取り組みを自動車総連と連携して進めていく。

具体的活動方針

01 経営対策活動の充実

1. コンプライアンスの徹底

- 経営のカウンターパートとしてのチェック機能を強化するため、職場実態や組合員の声をもとに、より職場に入り込んだ活動を行い、法令遵守が徹底された健全な企業・職場運営に向けた取り組みを、労連全体で推進していく。

2. 各組合の労使協議を通じた経営対策活動の充実

- 各組合の労使協議会等で協議・確認した経営情報・施策を労連機関会議で共有し、労連・各組合の相互連携のもと、労連全体で経営対策活動を充実させていく。
- また、労連として対応が必要な経営課題を認識した場合には、必要に応じて各社経営者との労使懇談会を開催するなど、経営対策活動の充実を図っていく。

3. グローバル経営対策活動の推進

- グローバルでヤマハ発動機グループの企業価値を維持・向上させることが、グループの持続的な発展につながるとの認識のもと、「持続可能な開発目標 (SDGs)」や国際労働運動の動向

などを注視しつつ、海外事業体における建設的な労使関係構築や公正な労働条件の実現に向けて「労連国際活動2030年ビジョン」に基づき、取り組みを進めていく。

4. 付加価値の最適循環による全体の底上げ

- ヤマハ発動機グループ全体の魅力向上や競争力強化に向け、賃金や労働条件の格差是正・底上げに取り組むにあたり、企業収益の不合理な差が生じないように、適正価格での取引に対する提言を行うなど、引き続き付加価値の最適循環に資する取り組みについて検討を行っていく。

02 企業グループの発展に向けた政策の推進

- 二輪車・マリン事業など、グループが関わる事業の発展に向け、各事業の政策課題を把握・整理し、自動車総連が進める政策への織り込みなどを通じて、事業環境の改善につなげていく。
- CASE、MaaSなどの技術革新を踏まえたヤマハ発動機グループの新たな可能性を拓く政策の推進、またカーボンニュートラルの実現に向けては、電動車開発への技術開発支援についても自動車総連と連携して取り組んでいく。

活動経過報告

政策制度勉強会

政策制度課題の理解・浸透

2021.3.26

自動車総連が掲げる政策と活動について勉強会を行った。



2021年 春の取り組み

総合生活改善の取り組み

2021.1~2021.3

厳しい交渉環境の中、各労組が連携し粘り強く交渉した結果、最大限の回答を引き出した。



運動の進路

新型コロナウイルス感染拡大による働き方の急激な変化や、働き方関連の法改正が相次いで実施され、今後も様々な働き方の課題に対する社会的な議論が活発になると予想される。また働き手や働き方に加え、働くことに対する価値観も多様化が進む

と想定される。ヤマハ労連は各組合における働きがいの向上や多様な人材の活躍に向けた取り組みをサポートするとともに、共済活動、余暇支援、企業内福祉などを充実させ、働く仲間の生活の質的向上を目指していく。

具体的活動方針

01 より納得性の高い処遇の実現

1. 総合生活改善の取り組み

- 賃金、年間一時金、働き方の改善、非正規雇用で働く仲間に関する取り組みなど、グループで働くすべての仲間の生活・働き方に直結する取り組みをヤマハ労連一体となって進める。

① 絶対額を重視した賃金の取り組み

- 自社における賃金課題の解決、自らの目指すべき賃金水準の実現やヤマハ労連全体の底上げ・格差是正の更なる前進に向け、各組合は「絶対額を重視した取り組み」を推進していく。

② 企業内最低賃金協定の取り組み

- 同じ会社で働く仲間の最低限の生活を守ることに加え、同じ産業で働く仲間の賃金の底上げに向け、最低賃金協定締結額の水準引上げや締結対象者の拡大に取り組む。

③ 年間一時金の取り組み

- 一時金は、年間賃金の重要な一部として組合員の生活に組み込まれているという認識のもと、生活の維持・向上と今後の意欲・活力につながる取り組みを進める。

2. 労働諸条件改善の取り組み

- 法改正や社会情勢の変化、自動車総連「労働諸条件・基本プラン」の改定、労連内の状況を踏まえ、ヤマハ労連「労働諸条件基準」の見直しを図りながら、労連全体の労働諸条件の改善に取り組む。

02 安心・安全で健康な労働環境の実現

1. 安全衛生活動の充実

- 労働災害・通勤災害の削減に向け、自動車総連・労連内の災害

情報を各組合にタイムリーに展開するなど、再発防止の取り組みを強化していく。

- 安全衛生に関する法改正の動向、過労死防止対策、メンタルヘルス対策などの心身の健康を確保するための取り組みに関する情報を各組合に展開していく。
- 各組合の安全衛生担当者に対して、情報交換の場や先進的な取り組みを勉強する機会を設けるなど、労連全体の安全衛生活動のレベルアップを図っていく。

2. 長時間労働の是正に向けた働き方の改善

- 健康被害の防止、ワーク・ライフ・バランスの実現の観点から、所定労働時間の短縮、所定外労働の削減、年次有給休暇の取得促進の取り組みを、自動車総連New START12の枠組みに沿って引き続き推進する。また、安全で健康、かつ持続可能な働き方の実現に向けて、働き方の改善を含め、勤務間の休息時間の確保につながる取り組みを前進させる。

03 多様な人材の活躍に向けた環境整備

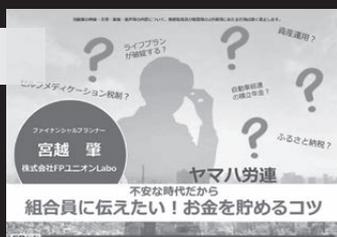
- 60歳以降も安心して生活し働きがいを持って働くことができる環境整備に向け、働き方・役割と処遇や、定年年齢の引き上げ等について労使議論を深めるなど、労働諸条件改善の取り組みと連動した取り組みを推進する。
- 女性活躍推進法、障がい者雇用促進法、育児・介護休業法改正などの法改正、社会情勢の変化を踏まえ、すべての働く仲間のより一層の活躍を促進する取り組みを進める。
- コロナ禍で変化したりリモート化・デジタル化を中心とした働き方についても、現在の実態・課題を踏まえ、今後の多様な働き方の実現につなげていけるよう、労使での協議を進める。

福祉政策担当者会議

総合福祉活動

2021.5.28

可処分所得向上に向けた勉強会や自動車総連積立年金の取り組みについて意見交換を行った。



磐田市議会議員選挙

政治活動への取り組み

2021.4.18

労連組織内議員「松野まさひろ」氏が第1位で4期目の当選を果たすことができた。



04 総合福祉の向上

1. 共済活動

- 組合員とその家族の生涯にわたる幸せづくりに向けて、共済活動を推進するとともに、備えの必要性や可処分所得の向上に向けた啓蒙活動も併せて行っていく。

2. 契約保養施設の利用促進と余暇利用の支援

- 契約保養施設の利用促進・利便性向上の観点から、運用方法

の見直しやSNSを利用したタイムリーな情報提供を行っていく。

- 労連のスケールメリットを活かした法人契約の締結を推進し、更なる組合員の余暇支援を目指していく。

3. ヤマハ健康保険組合、ヤマハ発動機企業年金基金、ヤマハ発動機共済会

- それぞれの財政状況や運営内容について情報を共有するとともに、理事会や組合会などを通して、制度の維持・安定に向けて意見提言していく。

私たちの生活基盤である社会との共生

03

運動の進路

企業が属する産業の発展、個人の属する地域社会の発展のため、安心して働き・暮らせる社会作りに向けた政治活動、社

会に貢献する福祉活動を継続し、社会的な役割・責任を果たしていく。

具体的活動方針

01 政策実現に向けた取り組み

1. 政策実現活動の推進

- 自動車総連の政策集「明日への提言2020年度版」の労連内への理解・浸透を図るとともに、政策制度課題への意見要望を反映させていくために、労連・各組合において政策研修会を開催していく。
- 政策制度課題に対する理解を深めていくため、労連役員や政治担当者が国会議員との意見交換を行う場を設定するとともに、自動車総連組織内国会議員や関係の深い国会議員との連携を強化していく。

2. 労連組織内議員との連携

- 地方行政の場に組合員の声・意見を反映していくために、市政報告会や議会傍聴など組織内議員との連携を深める活動を展開していく。

02 各級選挙への取り組み

- 第49回衆議院議員選挙、また第26回参議院議員選挙、いずれの

国政選挙においても、自動車総連組織内候補者及び推薦候補者の当選を目指し、ヤマハ労連の役割をしっかりと果たすべく全力で支援活動を行っていく。

- 地方選挙については、自動車総連組織内候補者の必勝に向けて取り組む。

03 社会貢献活動

- 心身にハンディキャップを持った人とともに、文化・芸術活動を通じ「心の豊かさ」を育み、広く社会に対し、障がい者への理解を深めることを目的として、「チャティー公演」「チャリティーきゃらばん」を労連独自の福祉事業として継続していく。
- 自動車総連がスポーツを通じて障がいのある方々と組合役員・組合員がふれあいを深める中から「自立の心と思いやりの心」を育むことを目的として各地協で開催する「ナイスハートふれあいのスポーツ広場」には、これまでと同様、積極的に参加していく。
- 車両寄贈については、より困窮度が高い施設に寄贈を行うべく、各地域の役所や社会福祉協議会と連携をとり、施設の選定を行っていく。

車両寄贈

社会貢献活動

2021.2.25

皆さんから拠出いただいた福祉カンパ金をもとに、静岡県周智郡森町の「NPO法人 ゆうゆうの家」へ車両を寄贈した。



男女共同参画推進委員会

男女共同参画の推進

2021.7.9

自動車総連の次期計画や各労組における男女共同参画の実態等を踏まえ、労連の次期推進計画に向けた意見交換を行った。



運動の進路

労連の組織内をはじめ、上部団体である自動車総連や各地方連合会などに属する働く仲間との連携を更に深めるとともに、海外で働く仲間との連携も拡大していく。また、各組合の役員を

中心に、各活動の推進に必要な専門的知識やスキルの向上に向けた取り組みを進めていく。

具体的活動方針

01 組織の充実

1. 組織拡大に向けた取り組み

- 企業グループの動向とそれぞれの組織のニーズを踏まえ、適正なタイミングを探りながら「自動車総連 組織拡大第6次中期計画」に基づき、具体的な取り組みを進める。

2. 各組合の活動充実に向けたサポート

- 労連組織の一体感の醸成と、各組合役員間のネットワークづくりを目的として、各組合の役員が相互交流できる機会を提供していく。
- 各組合の活動を強化していくため、必要に応じて、労連事務局より担当者を派遣し、運営上の様々な課題を相談することができるようサポートを行っていく。

3. 交渉力を高める各種調査活動と情報の共有

- 各種調査を充実させ、総合生活改善の取り組みや労働諸条件改善の取り組みにおいて交渉に活用できるデータをフィードバックするなど、労連として継続的なサポートを行っていく。
- 各組合の交渉力強化に向け、労連は上部団体とも連携し様々な情報の提供・共有を行う情報センター機能を担っていく。

4. 男女共同参画の推進

- 次期労連男女共同参画推進計画（2021.9～2027.8）を策定し、各種活動への女性の参画、各組合の女性役員拡大などの取り組みを推進していく。
- 労連男女共同参画推進委員会を定期的に開催し、各会社・職場・組合における男女共同参画の実態、課題などについて情報・意見交換を行い、各組合の男女共同参画の取り組みを後押ししていく。

5. 教育・研究

- 労連の教育プログラムに基づく研修会・セミナーを実施するとともに、各組合のニーズを踏まえ、教育メニューの追加、内容の充実を図っていく。
- グループが抱える諸課題や、海外の経済・社会情勢、労働事情などを把握し、グローバルな視点に立った活動を推進するために海外スタディーの実施に向け検討をしていく。
- 各組合の教育活動をサポートするため、各組合が開催する研修会等に必要に応じて労連本部より講師派遣を行っていく。

6. 広報

- 活動の経過や取り組み方針の考え方、産業政策を含めた政策制度課題への取り組み、共済制度の教宣などを中心として機関紙やホームページを通じてタイムリーに配信するとともに、よりわかりやすく魅力的な内容となるよう改善を図っていく。

7. 組織・財政課題の対応

- 労連・加盟組合の諸活動の充実と組織運営の効率化を図るため、必要に応じて財政課題や諸会議体の機能・あり方を検討していく。

8. ヤマハ労連結成50周年記念事業の実施

- 2021年12月、ヤマハ労働組合連合会結成50周年の節目を迎えるにあたり、これまでの活動を振り返り、次世代に向けた新たなスタートとするため、式典や記念事業を実施するとともに、記念誌を発行する。

02 連帯活動

1. 上部組織（自動車総連、連合、JCM（金属労協））との連携

- 自動車総連本部に専従役員を派遣するとともに、中央執行委員会、各種委員会などに委員として参画し活動を進めていく。
- 自動車総連を通じて中央・地方の連合、JCM（金属労協）の諸活動、国際連帯活動についても労連としての必要性・重要性を考慮し、活動に参画していく。

2. 地域活動の推進

- 自動車総連における地協活動の見直し議論を踏まえつつ他労連と連携を深めながら各地協の活動に積極的に参加していく。
- 各地方連合の進めている地方からの政策実現に向けた取り組みに対し、地方連合を構成するメンバーの一員として、地域における役割と責任を果たしていく。

4. 海外労組への対応

- 海外における労使紛争等の個別問題の未然防止や、有事となった場合に適切且つ速やかな対応が図れるよう、海外の労働問題や労組組織に関する情報を定期的に収集し、海外関連企業労組の実態把握に努めていく。
- 企業のグローバル化、国際労働運動の状況を踏まえ、自動車総連国際活動の『20・30ビジョン』に基づき策定した労連活動計画に沿って、海外関連企業労組とのネットワーク作りに向けた取り組みを進めていく。

契約保養所 年末年始の抽選のお知らせ

泉郷

対象施設 泉郷全施設（提携施設含む）

ハケ岳コテージ スタンダードタイプ 5名用（最大で6名まで可）は、ヤマハ労働組合連合会に1日1棟保証されています。

対象期間 2021年12月24日（金）～2022年1月2日（日）泊まで

その他 抽選は素泊まりでの申込みができますが、抽選後の12/31～1/2の申込みは、1泊2食付プランとなる場合があります。抽選締切後の申込みは、泉郷予約センターへお申込みください。（10月29日以降）



リゾートトラスト

対象施設
と日程

施設名	利用日(各日1室)			部屋タイプ	室料(税込)
エクシブ鳥羽本館(リニューアルルーム)	12/30(木)	12/31(金)	1/ 4(火)	和洋室(5名定員)	¥12,650
エクシブ伊豆	1/ 1(土)	1/ 2(日)	1/ 3(月)	和洋室(5名定員)	¥10,560
エクシブ浜名湖	1/ 2(日)	1/ 3(月)	1/ 4(火)	和洋室(5名定員)	¥13,200
エクシブ蓼科	1/ 2(日)	1/ 3(月)		和洋室(5名定員)	¥13,200
エクシブ京都八瀬離宮	12/30(木)	1/ 2(日)	1/ 3(月)	和洋室(5名定員)	¥13,750
エクシブ箱根離宮	12/30(木)	1/ 4(火)		和洋室(5名定員)	¥17,050
エクシブ湯河原離宮	12/30(木)	1/ 4(火)		和モダン(5名定員)	¥15,950
エクシブ山中湖	12/31(金)	1/ 1(土)		洋・和洋室(4～5名定員)	¥13,200

その他 全て1泊2食付きの条件になります。お食事も合わせてお申込みください。12/30～1/5の大人の夕食料金は、500円(税抜)アップとなります。

応募方法 泉郷・リゾートトラスト(エクシブ・サンメンバーズ) 各申込用紙に記入の上、所属の労働組合またはヤマハ労連事務局へお申込みください。抽選は予約センターでは受付していません。

締切日 9月29日(水)ヤマハ労連事務局必着(メールBOX:RO)

抽選結果 10月28日(木)までに連絡いたします ※保養所のご利用には、宿泊料とは別に利用者負担金が必要となります。

お問い合わせ先 所属の労働組合 または ヤマハ労連事務局まで 内線：712-42065 外線：0538-34-1218 FAX：0538-37-4279

自動車総連 積立年金

予定利率は
年 **1.25%** +配当金

新入社員Aさんの場合

色々買いたいものあるし、
月々1万円積立しよう。



40年後

ベテラン社員Bさんの場合

子どもが独立したし、
月々4万円積立しよう。



10年後

払った掛金の合計はどちらも**480万円**

積立金給付額は、
約595万円
になったよ。



コツコツ積立てた
Aさんの方が、
**約98万円多く
なります**

積立金給付額は、
約497万円
になったけど、
もっと若いうちから
始めればよかった。



若いうちから無理せずコツコツと積立しましょう

新規加入お申込み受付中

2021年10月下旬〆切

※〆切日は各労組によって異なります。各労組の役員までお問い合わせください。

申込書のご請求・お問い合わせは所属組合役員または、ヤマハ労連事務局まで

【ヤマハ労連事務局】 外線：0538-34-1218 内線：712-42065 mail：ishizukari@yamaha-motor.co.jp



ファイナンシャルプランナーによる制度の紹介動画が視聴できます。